

県央支部だより

発行

公益社団法人新潟県看護協会
県央支部

ごあいさつ

県央支部長 丸山 美香

(新潟県立加茂病院 看護部長)



この度、令和5年度新潟県看護協会県央支部通常集会において支部長を仰せつかりました。微力ではありますが支部役員と会員の皆さまのお力をお借りし、支部運営に貢献できるよう努めてまいります。

今年度の県央地域では済生会新潟県央基幹病院の開院が予定され、それに伴う医療の再編統合が実施されます。各施設では自施設の役割の明確化とさらなる地域連携の推進が求められており、会員の皆さまは通常業務に加えてその推進に係る業務も担当され、多忙な日々をお過ごしのことと思います。このような変化のなか、新潟県看護協会県央支部は地域全体の医療事情を把握しながら活動を展開していきたいと思います。まずは、地域の人々の健康を支える専門職である私達看護職の役割・機能を強化し、連携を推進しなければなりません。研修会や情報交換会を通じてお互いを理解し合い、つながりを強化していきたいと思います。

県央地域でも住民の高齢化が進むなかで、人々の健康に対する価値観は変化し、医療・介護ニーズは多様化しています。看護職はアドバンス・ケア・プランニングの理解をはじめとした看護実践に必要な知識を深め、地域住民の一人ひとりがその人らしく生活していくよう、専門性を發揮していくなければなりません。また、この数年間で経験した新型コロナウイルス感染症対応をもとに、県央地域で新興感染症発生時に貢献できる看護職の人材育成、また、災害看護を担う人材育成を目指さなければなりません。各分野の看護職が力を合わせ、県央地域における看護の発展を目指し今後も進んでいきたいと思います。

今後も支部運営へのご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

第53号 CONTENTS

- ・支部長のごあいさつ
- ・トピックス
- ・施設紹介
- ・令和5年度 委員会活動について
- ・事務局からのお知らせ



患者様の食べる幸せを 支えたい

新潟県済生会三条病院

中島 こなん (摂食・嚥下障害看護認定看護師)



皆さんは「食べる」と言うとどのような事を想像するでしょうか。空腹を満たし乾いた喉を潤す、元気に過ごすために必要な栄養を摂るなど、基本的な欲求を満たし、生きるために必要な行動です。さらにご自身が食べる場面を想像してみてください。友人とのランチ、飲み会、家族との団欒の場で、大好物やご馳走を「おいしい！」と楽しみながら食べると、満足感や幸福感を味わうことができ、明日への活力を養う機会となるのではないでしょうか。本来であれば様々な意味を持つ「食べる」ですが、その機能に障害のある患者様は、どのように思っているのだろうか、私にできることはできないのだろうかと日々考えています。

摂食嚥下の一連のプロセスはとても複雑です。摂食嚥下障害と言ってもその原因是、脳血管疾患や神経筋疾患などに限らず、精神疾患、認知機能の低下や加齢による変化、廃用症候群、サルコペニアなど様々で複合的な場合もあります。症状は患者様によって異なるため、難しさを感じることもあります。

患者様の摂食嚥下障害の症状やそれによる困り事に対して介入するのはもちろんのこと、その方の人間性や食べることに対する想いに寄り添うことも大切にしていきたいと考えています。看護スタッフや他職種と協力し、患者様の「食べる」への支援を提供していきたいと思っています。



施設紹介 小規模多機能ホーム こいけの家



管理者 斎藤香織

小規模多機能ホームこいけの家は令和5年7月1日に開設いたしました。

社会福祉法人桜井の里福祉会にある事業所の中で、5つ目となる小規模多機能ホームです。

法人の理念にある「もう一つの我が家づくり」を職員が意識し、ホームにいても家と同じように過ごしていただけるよう、家庭的な雰囲気を大事にしています。小規模多機能ホームは定員29名の登録者がそれぞれの生活パターンに合わせ、通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせ利用されます。通って来ても、自宅に訪問に来てもらっても、馴染みのある職員が行き来するので、登録者は安心して利用することができます。急に予定ができた時や、予測できない災害が起きた時にも、すぐに宿泊することが可能で、柔軟にサービス利用ができます。

またちょっとおしゃれな地域スペース(15人位入れるスペースと足湯)がありますし、玄関前には小池小学校の子供たちの手形オブジェがあります。高齢の方だけでなく、地域の皆様が気軽に足を運んでくれる居場所になっていきたいと思います。小池地域の方が「こいけの家」を頼ってください、「何かあればこいけの家にいこう」と思っていただけるような、地域の中にある家のひとつとなっていきたいと考えています。

こいけの家は、ほっこりする場所です。近くを通った際にはぜひ立ち寄りください。



令和5年度 委員会活動について

保健師職能委員長 勝 山 洋 子
(弥彦村役場)

保健師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

保健師職能委員会は、「研修会」「職能だより」「交流会」を主な活動として行っております。昨年度の研修会は、「行政保健師の人材育成～共に育つ職場に向けた次の一步～」をテーマに、指導的な立場を担う保健師の方を対象に開催しました。講義とグループワークを通して、保健師の人材育成に必要な視点を学び、自組織の課題を確認する機会となっています。今年度も保健師活動に活かすことができるような研修会の準備をしているところです。職能だよりでは、支部会員の活動を知りたい方や、会員以外の方や管内病院、保健師養成学校への配布を継続していきます。

保健師の活動がさらに充実するよう、会員同士のつながりや情報交換の機会を大切にしていきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度も引き続き、ご指導ご協力をよろしくお願いいたします。



助産師職能委員長 高 野 亜矢子
(新潟県立加茂病院)

助産師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。助産師職能委員会は、長岡支部と合同で活動しています。

地域において助産師に役割発揮が求められているなか、就労助産師の8割が医療機関に属しています。「行政、地域で支える切れ目ない支援の実現」には、母子保健に関わる多種職がお互いの役割を認識し理解を深めること・顔の見える関係づくりが大切です。行政職の立場で支援している保健師、助産師、看護師、地域で支援活動されている助産師と「切れ目のない支援」について共に考えたいと交流会を企画しました。～繋がる～をテーマに、お互いの活動について情報交換を行い、刺激し合い、自由な発想が生まれる楽しい会にしたいと思います。

引き続き、ご指導ご協力をよろしくお願いします。



看護師職能Ⅰ委員長 廣瀬 巴
(大島病院)



看護師職能委員会県央支部の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

看護師職能委員は病院勤務者Iと施設勤務者IIが協力をし、活動しています。年1回予定している交流研修会の企画運営が主な活動です。

令和4年度は「ストレスコントロールと自己理解～エゴグラムで見える自分の傾向～」をテーマに臨床心理士、渡邊弥生さんより講演していただきました。自分自身の強み弱みを客観視し、よりよい人間関係を築く事が質の高い看護の実践に繋がることを学ぶことができました。参加した皆さんからも好評をいただきました。

令和5年度は「新型コロナウイルス感染症の現在の対応について」をテーマに済生会三条病院感染管理認定看護師、早川陽子先生をお迎えして御講演いただきました。新型コロナウイルスの分類も2類から5類へと変わり、対応について悩んでいる看護師がいると言われています。自分自身の感染対策を改めて振り返り新たな感染症対策を知る事は今後、質の高い看護の実践に繋がる事を再認識できた研修でした。

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から研修会における注意事項や環境整備などの対策を行う必要がありますので、会員の皆様には重ねてご協力よろしくお願ひいたします。

教育委員長 鬼木 舞
(三条市役所)



教育委員会は、支部の教育企画の実施、支部通常集会時の特別講演会の企画運営、教育研修会への協力を実行しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症に考慮して、通常集会の参加者及び看護協会員の申込者のみの参加としました。

講演会は、「看護職が家族を支えるグリーフケア～ご本人やご家族の意向を尊重したケアを行うために～」と題し、新潟市の街の小さな葬儀屋さん ラ・プリエール代表取締役村上慶乃介氏より御講演いただきました。参加者からは、「自身のケアの振り返りができた」「グリーフケアの重要性を改めて感じた」などの御意見が聞かれました。

来年度の特別講演会も、会員様のニーズにお応えできるように企画していきたいと考えております。

最後になりましたが、今年度も引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

【事務局からのお知らせ】

報告

令和5年度 新潟県看護協会県央支部通常集会

新潟県看護協会県央支部通常集会は、新型コロナ感染症拡大防止のため開催方法を工夫して新旧役員の引き継ぎを行い、集会終了後に特別講演会を開催しました。

日 時：令和5年6月24日(土) 午前8時45分から12時

会 場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階マルチメディアホール

出席者：61人

特別講演：

「看護職が家族を支えるグリーフケア

～ご本人やご家族の意向を

尊重したケアを行うために～」

講師：ラ・プリエール 村上慶乃介さん



* 新潟県看護協会県央支部会員数 1,269人(令和5年10月11日現在)

(内訳：保健師98人・助産師31人・看護師1,074人・准看護師66人)

お知らせ

令和6年度 新潟県看護協会県央支部通常集会

日 時：令和6年6月22日(土) 午前8時45分から12時予定

会 場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア 7階マルチメディアホール

* 新型コロナ感染症対策を講じながら集会を開催し、集会終了後に特別講演を予定しています。詳細は後日お知らせします。

県央支部 書記 木津 みゆき

編集後記

県央支部だより第53号をお届けいたします。

お忙しい中、ご寄稿して頂きました皆様、ありがとうございました。

皆様に紹介したい情報・ご意見などありましたら、ぜひ広報委員までお知らせ下さい。

広報委員 小林・田浦・本多・霜鳥・伊藤

◎問い合わせ 広報委員長 伊藤友美(燕市役所健康づくり課) TEL: 0256-93-5461(燕市保健センター)